

輸送動向について(4月分)

平成20年5月

1. 輸送概況

今月は、東北地方を中心とした強風による輸送障害が発生し、高速貨58本、専貨8本が運休となった。

荷動きは、上旬に輸送障害の影響もあり、やや低調に推移したものの、下旬に入り、ゴールデンウィーク前の需要が強勢となった。

品目別にみると、コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物などが前年を下回ったものの、自動車部品、化学薬品、エコ関連物資などが前年を上回り、全体では前年比101.4%となった。農産品・青果物は政府米が減送となったほか、九州地区の野菜類の出荷が振るわなかった。一方、エコ関連物資は焼却灰などの輸送開始により増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を上回ったものの、コンテナ化を進めた化学薬品などが前年を下回り、全体では前年比98.7%となった。セメント・石灰石は定期修理の時期変更等により、大きく増送となった。

なお、石油については、暫定税率の期限切れ及び復活に伴う石油元売各社からの緊急輸送の要請を受けて、上旬に183本、下旬に123本の臨時列車を運転したため、揮発油・軽油が増送となった。しかし、燃料転換の進展により、引き続き重油・灯油が減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	月計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	2,014	1,986	101.4%
車扱	1,015	1,028	98.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	173	184	-11	94.0%
	化学工業品	192	190	2	101.1%
	化学薬品	144	139	5	103.6%
	食料工業品	306	306	0	100.0%
	紙・パルプ	324	318	6	101.9%
	他工業品	152	141	11	107.8%
	積合せ貨物	223	225	-2	99.1%
	自動車部品	71	59	12	120.3%
	家電・情報機器	32	31	1	103.2%
	エコ関連物資	32	28	4	114.3%
	その他	365	366	-1	99.7%
コンテナ計	2,014	1,986	28	101.4%	
車扱	石油	676	670	6	100.8%
	セメント・石灰石	135	96	39	140.7%
	車両	106	114	-8	92.6%
	その他	98	147	-49	66.7%
	車扱計	1,015	1,028	-13	98.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)

<今年度より、車扱品目のうち「セメント」及び「石灰石」は「セメント・石灰石」に統合しました。>